

美ヶ原山行報告

2010 年 2 月 13 日(土)14 日(日)

M3 只左一也

M2 米田 立

1 日目：八王子駅→(JR)→下諏訪
山本小屋→王ヶ頭→山本小屋（小屋泊）

2 日目：山本小屋→王ヶ頭→王ヶ鼻→
武石峰→王ヶ頭→山本小屋→
→(送迎バス)→下諏訪駅

1 日目（2 月 13 日(土)）

八王子駅	06:35 発（電車）	
下諏訪	09:55 着	10:30 発（送迎バス）
山本小屋	12:00 着	13:30 発
王ヶ頭ホテル	14:30 着	15:50 発
山本小屋	16:50 着	（小屋泊）
（歩行時間：約 2 時間）		

2010 年の初山行は、アルプスの眺めの良い美ヶ原でスノーシューを楽しむ山行にした。美ヶ原一帯は幕営禁止であること、美ヶ原まで冬期はバスがないのでタクシーになるが 1 時間以上かかるので費用もかかることから、2 食付きで 1 泊 9450 円でしかも下諏訪駅からバスが送迎してくれる山本小屋に泊まることにした。「小屋」といっても実際は旅館で、風呂も付いているし、食事も美味しくて食べきれないボリューム（食べた後はしばらく動けない程！）だった。

八王子で待ち合わせ、中央線の鈍行に乗り込むが、土曜日ということもあって登山客が結構多かった。

下諏訪駅で送迎バスに乗り込む。私たちの他、十数人の高齢者の団体、中年の 3 人連れと、マイクロバスはいっぱいだった。運転手さんが運転しながらいろいろ話を聞かせてくれた。今年的美ヶ原は暖かくて大変

雪が少なく、1 月には 2000m の高地なのに 30 年振りに雨が降ったそうである。この日も前日まで雨が降っていたが、そのおかげで美ヶ原では珍しい「雨氷」を途中で見る事ができた。

正午に小屋に到着、昼食を済ませ、スノーシューを履いて出発した。美ヶ原は生憎ガスがかかっている、視界が悪い。ときどき青空がのぞくが、すぐに雲で覆われてしまう。天気が良くなることを期待して王ヶ頭ホテルまで進んだが、さらに視界が悪くなって気温も下がって身体が冷えてきたので、ホテルに入ってホットミルクを頼み、天気の回復を待つことにした。しかし、天気は良くなり、雪まで降ってきた。しかも暖房にあたってすっかり気分がダレてしまい、この日は小屋に引き返してゆっくり休むことにした。



下諏訪駅と山本小屋の間は送迎バス



山本小屋に到着。この日は満室。



スノーシューが初めてのM2米田。



美ヶ原は山というよりも標高 2000mの高原。



王ヶ頭ホテル。雪まで降りだした。



時折薄日が差すのだが…



捨てられていたのを小屋の主人に拾われたそうで、大変な人嫌いで近づくとかみつく。今まで、救急車で病院送りになった人が何人かいるそうである…。

2 日 目 （2 月 14 日(日)）

山本小屋		05:40 発
王ヶ頭	06:40 着	06:50 発
王ヶ鼻	07:15 着	08:00 発
武石峰	09:15 着	09:20 発
王ヶ頭	11:10 着	11:15 発
山本小屋	12:15 着	13:30 発（送迎バス）
下諏訪	14:40 着	15:00 発（JR）
高尾駅	18:08 着（解散）	

（歩行時間：約 5 時間）



夜明け前。八ヶ岳と富士山。

早朝 5 時に起きて窓から外を覗くと満天の星だった。期待通り、快晴である。朝食は 7 時半と遅いので、前の晩に作ってもらった弁当を持って、王ヶ頭方面に向けて出発。前日少し雪が降ったおかげで、スノーシューを履いているとふかふかな感じがして気分がいい。次第に空が白み、王ヶ頭ホテルの手前で日の出を迎えた。雪をかぶった真っ白な八ヶ岳、南アルプス、中央アルプス、御嶽山、北アルプスが周囲を囲み、素晴らしい眺めだった。

真っ白な槍穂高を正面に望みながら王の鼻に向かう。樹林帯を抜けると、雄大な眺めが目の前に広がった。北アルプスが目の前に屏風のように連なっている。熱いお茶を飲みながら、雄大な景色をたっぷり楽しんだ。

次は、高原の西の端に位置する武石峰(1973m)に向かう。雪の車道歩きだったが、北アルプスの眺めが素晴らしくて苦にならない。なだらかな道をのんびり進み、浅いお椀を伏せたような武石峰に到着。槍穂高がさらに近くなり、眺めは最高なのだが、吹きさらしで寒くてじっとしてられない。写真を撮ったら、すぐに来た道を引き返した。

小屋に戻り、部屋の窓から外を眺めると、八ヶ岳が正面に連なり、素晴らしい眺めだった。

送迎バスで下諏訪駅に 3 時前に到着。帰りも鈍行に揺られ、終点の高尾駅で解散した。



美ヶ原の最高地点、王ヶ頭へ向かう。



日の出。



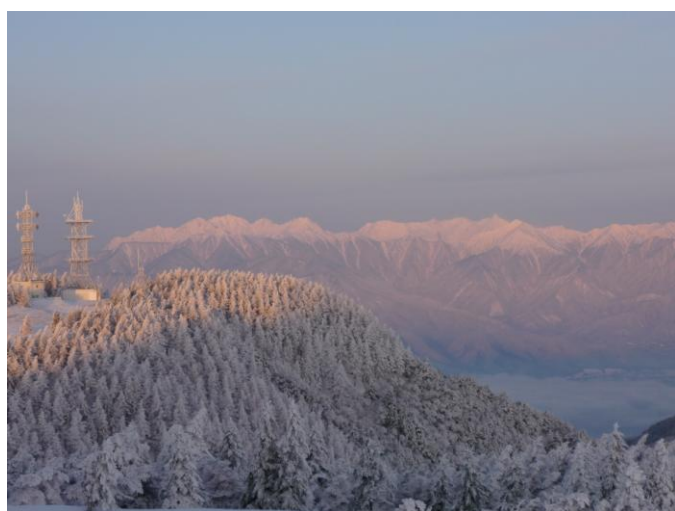
ホテルの前には多くの写真愛好家たちがカメラを構えていた。



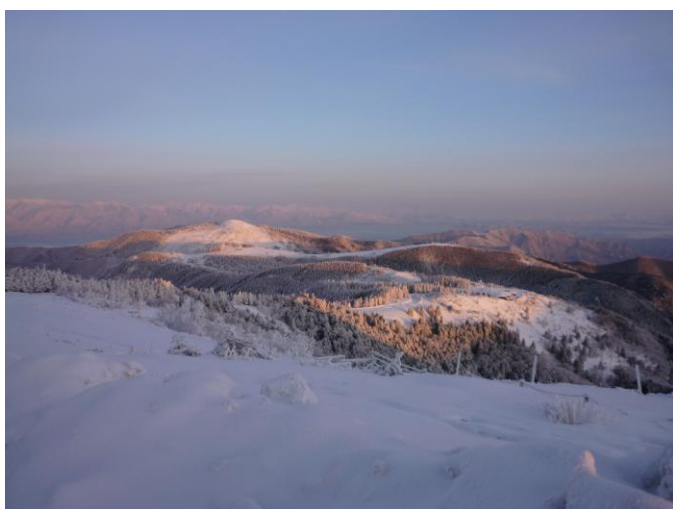
北アルプスが近い。



八ヶ岳、富士山、南アルプス。



槍穂高がくっきり。



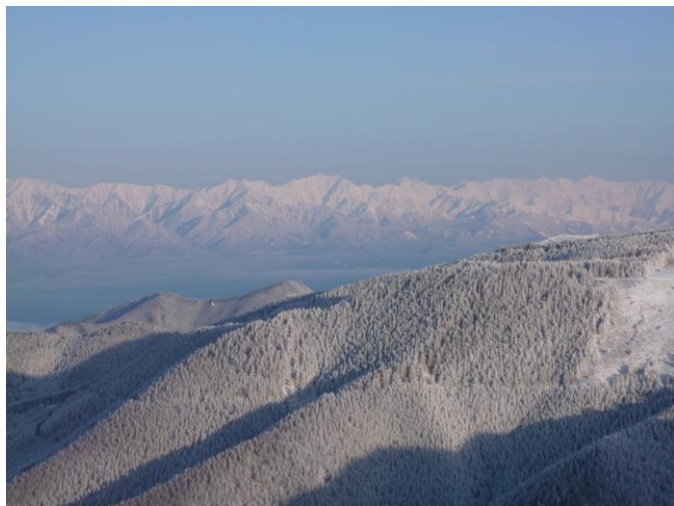
北アルプスと頸城。



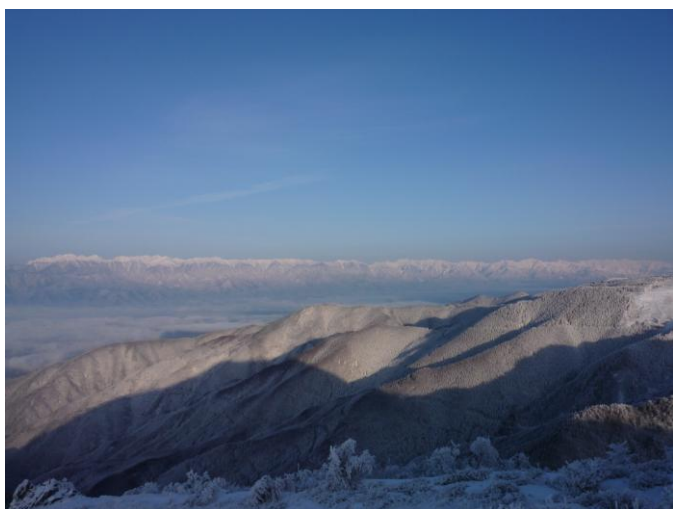
王ヶ鼻。



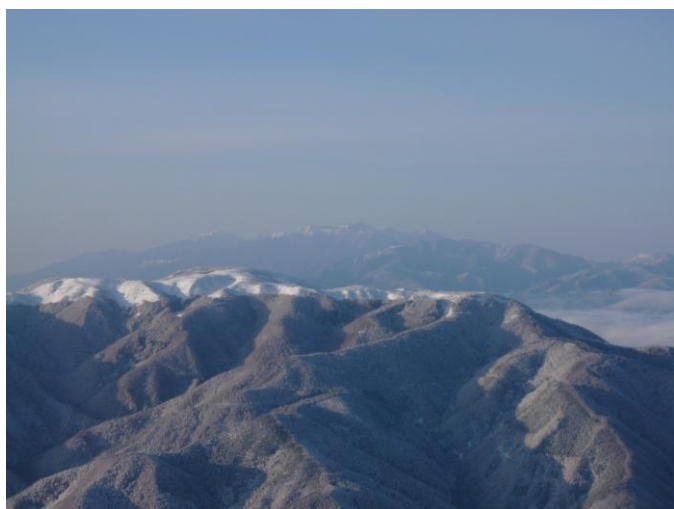
北アルプスをバックに。



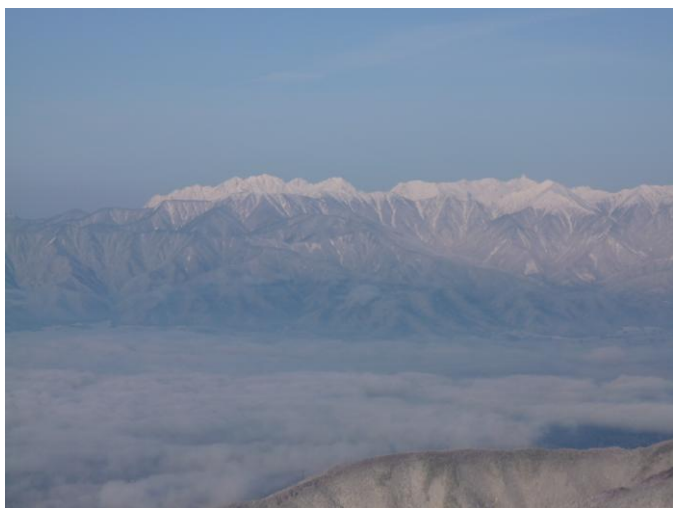
後立山。中央は鹿島槍ヶ岳。



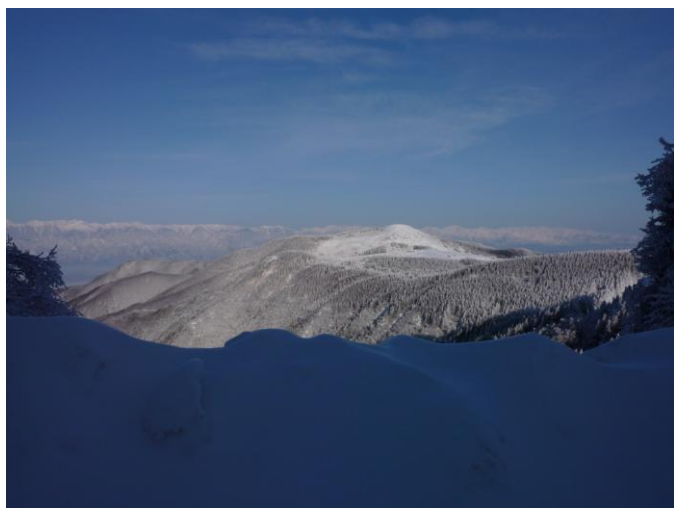
屏風のように連なる北アルプスの山々。



中央アルプス。



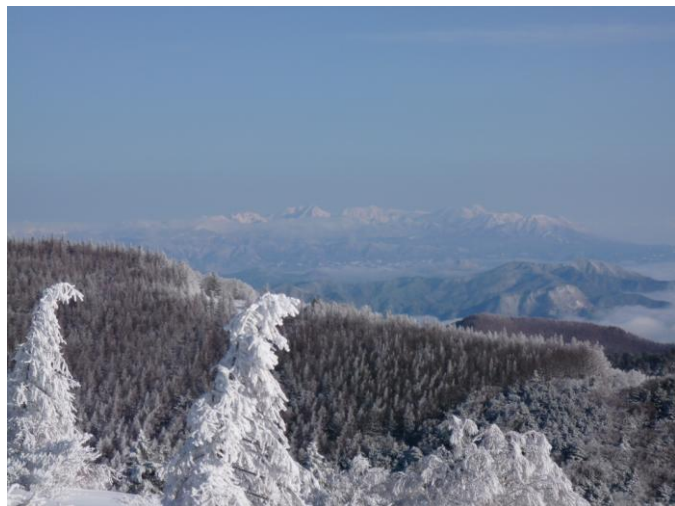
槍穂高が近い。



武石峰（中央右のこんもりしたピーク）を目指す。



少し車道を歩く。



頸城の山々(妙高、火打、焼山)もくっきり。

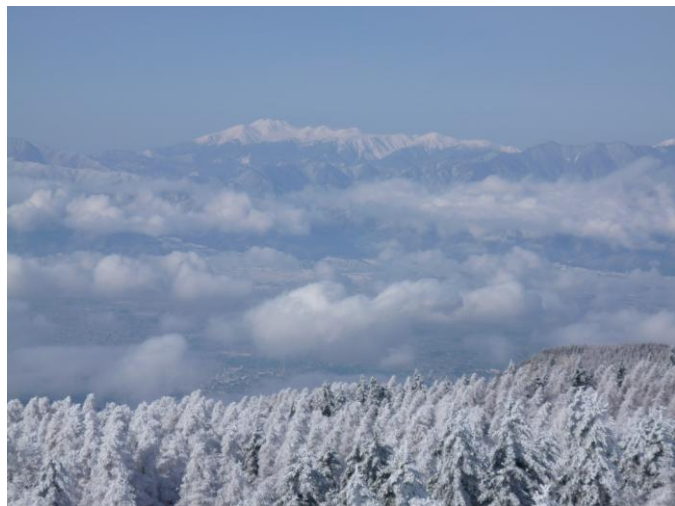


浅間山（右）と周辺の山々。





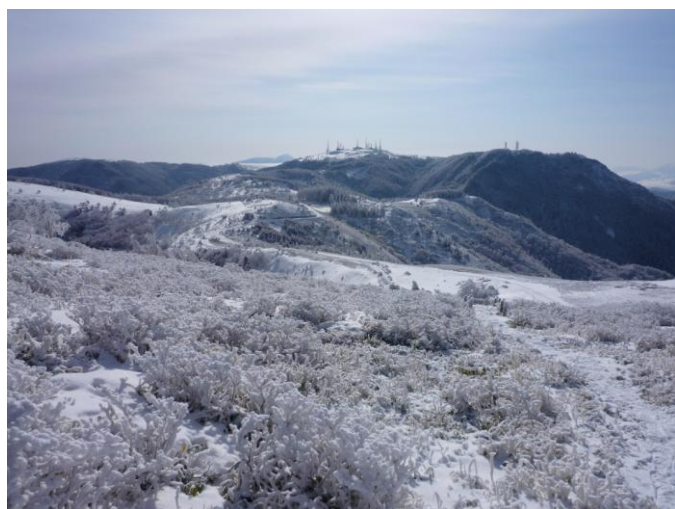
武石峰。



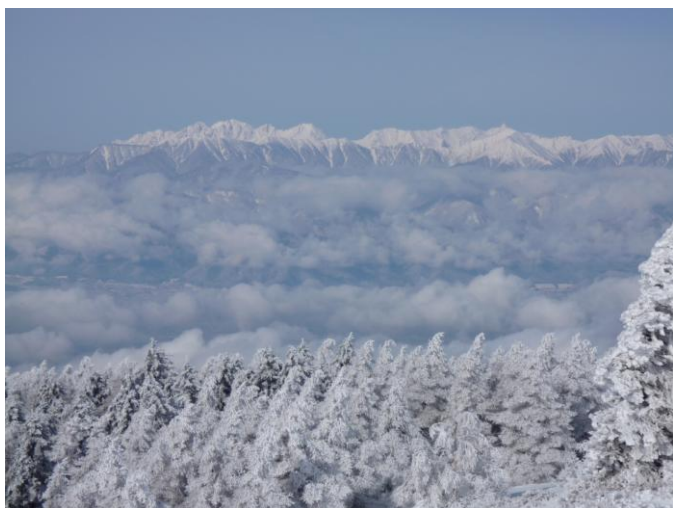
乗鞍岳。



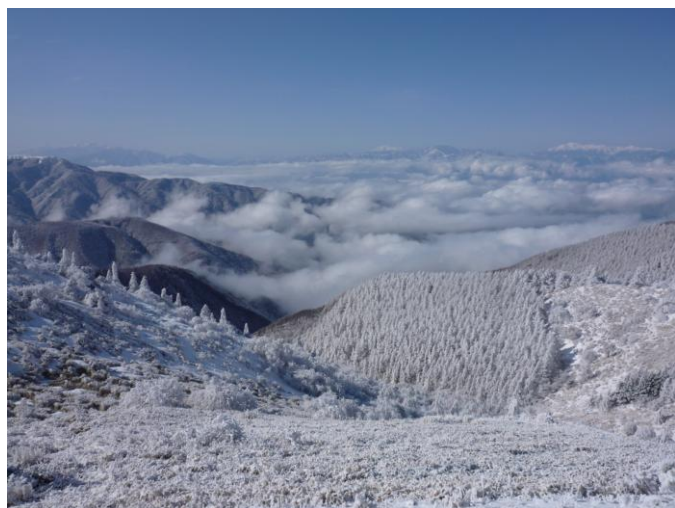
武石峰の山頂から。



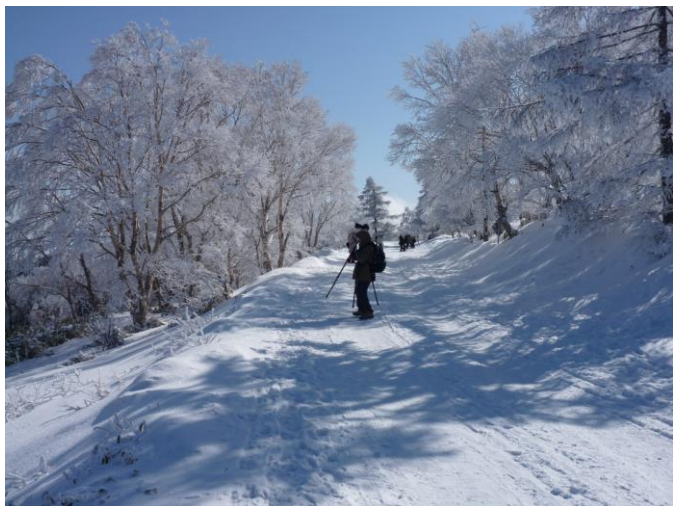
王ヶ頭を振り返る。



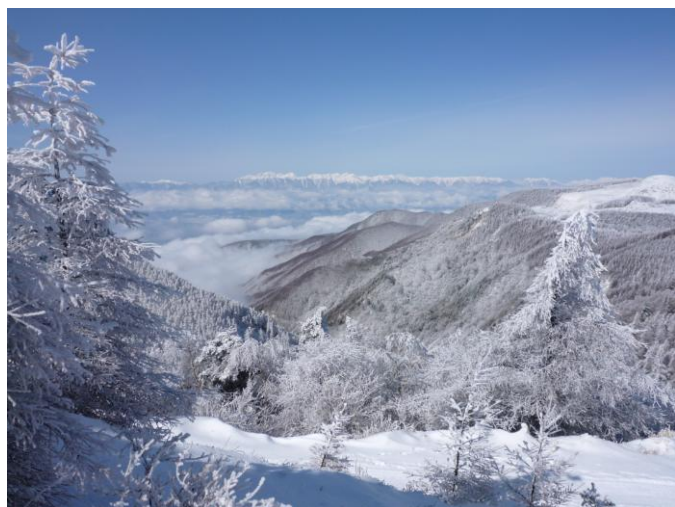
槍穂高がさらに近くなった。



南の眺め。右から乗鞍岳、御嶽山、中央アルプス。



立派なカメラを持った写真愛好家が多かった。



コンパクトカメラの私も、彼らの横に並んで1枚。



ウサギ。



美ヶ原の最高地点、王ヶ頭(2034m)。



南アルプス。中央の高い山は、右から仙丈ガ岳、間ノ岳、北岳、甲斐駒ヶ岳。



笹の葉が氷に包まれて、キラキラと輝いていた。



私たちのスノーシューの足跡。



山本小屋の部屋から眺める八ヶ岳。